

Medical Guide

読者からの質問「不妊治療の最先端医療」についてお答えいただきます

Q 妊娠のしくみを学ぶ
読者からの質問のなかでも多い「不妊症の検査・治療費について②」お答えします。

結婚2年目、夫30歳妻29歳、共働きの夫婦です。最近、周囲の人たちやメディア等で「子ども計画は早く立てた方がよい」「とか」「結婚前には、ブライダルチェックを受けた方がいい」と聞きますが、正直、まだ何も考えていません。二人とも仕事がとてもおもしろく、子どもを持つことで自分たちの時間が取られてしまうことを考えると、子作りは5年位先でいいかと思っています。しかし、35歳を過ぎると妊娠しにくくなり、余計な不妊症検査や治療費がかかるという話も聞きます。どちらがいいのでしょうか？

A 確かに、今の社会情勢では女性も仕事をしっかり持って活躍する時代です。しかし、会社ではまだまだ不妊治療のための休暇や育児休暇制度などが十分に取れていないため、妊娠や子育ては、どつしても後回しにならざるを得ない現状ではないでしょうか。男女とも高学歴化することで自立時期が遅く、仕事を覚えるのに精一杯で、給与は低いまま…行政も力を入れて婚活パーティー等を催しているようですが、余裕ある時間と収入がないため成果が少なくと聞きます。

また結婚しても、安定した生活基盤を作るためには4〜5年の時間が必要なのも事実でしょう。しかし、結婚が早く、妊活も29〜33歳迄に行われれば希望した結果になる確率は高く、逆に34歳を過ぎてしまつとなかなか望んだ結果が出ない。妊娠しにくいための検査の数が増え、てしまう。その間も確実に時間は経過します。

女性の身体を考えると、18〜25歳が妊娠時ですが、それが不可能であれば34歳までに妊娠・出産を経験しておくのが理想的です。仮に、不妊症外来にかかったとしても、不妊に対する検査も簡単なもののみで改善されるケースが多いです。

35歳を過ぎると卵巣(卵子)の老化が急激に進むため、通常の不妊検査以外にも特殊な検査などが入ってきますし、これらの特殊検査は高額なことが多いため、経済的な負担にもなります。その上、治療を重ねても妊娠しない場合は、体外受精または顕微体外受精を選ぶ必要が出てきます。

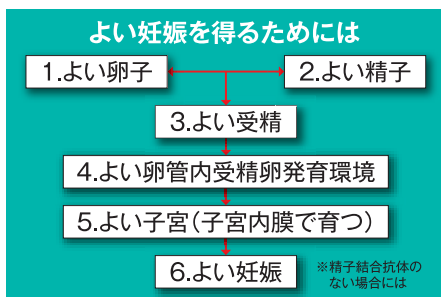
現在は体外受精に対し助成金援助もありますが、それは総額の一部(初回のみ総額の1/2、二回目以降1/4以下)です。さらに言えば、年齢によって個人差はありますが、体外受精の成功率は一般的に約20〜40%といわれています。体外受精は回数を重ねることで、多大な費用もかかりますので、経済負担もかかることが想定されます。

しかも、体外受精以外(自然タイミング、人工授精AIH)の治療では極端に妊娠率が低いことも事実です。

現在、日本での体外受精施行中の90%は37〜44歳という数字があります。これは、子供がほしい自分たちの遺伝子の子どもが欲しいという強い意思のあらわれです。他国では、子作りは若く、遅くなつてからは養子縁組をすることが活発です。少子化が進みません。お二人の遺伝子の繋がった子がほしいと思つのであれば、すぐに子作りをし、子どものためにお金を稼ぐことが良いでしょう。貯めてからの子作りはリス

クもあり、お金もかかり、子育てが遠くなるということですが、一日も早い妊娠をすすめますが、一人ひとり体質が違いますから、ご不安なことがあれば外来をご予約ください。

※次号も読者からの質問にお答えします。



【取材協力】



小埜 清 小ばなわ きよし 先生
医療法人 小埜医院
つくばARTクリニック 理事長

昭和46年茨城県立水戸第一高等学校卒業、昭和52年北里大学医学部卒業、同医学部産婦人科教室に入局。53年慶応大学医学部産婦人科教室に入局。芳賀赤十字病院、東京歯科大学の勤務を経て、57年オーストラリア・モナッシュ大学で不妊症を研究。60年慶応大学医学部産婦人科教室・飯塚理八教授のもとで人工授精、体外受精のための精子調整法、パーコル法などについて研究。現在、不妊症治療、「新酸・アルカリ法」による男女生み分け治療のほか、ホルモン補充治療法(HRT)や漢方を用いた更年期障害の治療にも研鑽を積んでいる。



- 【著書】
- 「男の子と女の子を産み分ける」(新星出版社)
 - 「男性不妊を治す」(新星出版社)
 - 「更年期とのつきあいかた」(新星出版社)
- 【ビデオ】
- 「いのち」(当院オリジナル版)

医療法人
小埜医院
こばなわいん
理事長 小埜 清
〒311-3435 小美玉市田木谷169-3
☎0299-58-3185
<http://www.ivf-ibaraki.or.jp>
Mail:kobanawa@ric.hi-ho.ne.jp

◆診療科目 産婦人科(不妊治療)
内科
小児科
泌尿器科

◆診療時間 月・火・木・金・土 9:00~17:00
第2・4日 9:00~12:00

◆休診日 水曜・第1・3日曜・祝日

予約受付時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8:30~11:30	○	○	休	○	○	○	△ 第1・3日曜
14:30~16:30	○	○	休	○	○	○	休

※初診の患者様については、午前中は11時まで、午後は16時までの受付となります。

車でご来院の方
常磐自動車道「千代田石岡IC」から、国道6号線を水戸方面に向かい、「山王台」交差点を国道355号線へ右折。千代田石岡ICから約10kmです。

電車でご来院の方
JR常磐線石岡駅からタクシーで約15分

休んだり、考えたりしても状況は変わりません。要領よく病院を利用して妊娠しましょう。